

第2回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（中学校・義務教育学校【前期課程】）

第1地区部会 議事要旨

1 日 時 令和6年5月16日（木）午後3時00分～午後4時10分

2 会 場 大阪市総合教育センター 1005室

3 出席者

（委員）

岡崎委員、堀岡委員、平井委員、中島委員、田野原委員、山口委員、本委員

（事務局）

大竹野首席指導主事、沖本総括指導主事、藤田指導主事、上田指導主事、白倉指導主事

4 議 題

（1） 地区部会長の選出について

（2） 調査の観点の重点化について

5 議事要旨

（1） 委員の互選により、本委員が地区部会長に選出された。

（2） 事務局より、採択地区の現状と課題について説明し、「調査の観点」の重点化に関する方向性を示し、種目ごとに重点についての説明を行った。議論の結果、案の通り了承された。

- ・ 項目1について、興味・関心をもって自ら学習に取り組むことができるような動機付けとなるよう配慮されているかを重視し、①の自主的、自発的な学習に関わる項目については、全種目において重点とする。
- ・ 項目2について、学習指導要領で示されている「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力に関わる各教科の目標に関する項目（①、②、③）は全種目において重点とする。
- ・ 項目3について、その種目の特性から社会（地理的分野）と地図においては②を重点とする。
- ・ 項目4について、書写、音楽（一般・器楽）、美術については、生徒の実態に即し、教材、写真、挿絵等から視覚的に訴えることが重要との意味で②を、その他の種目については知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点を重視するという意味で①を重点とする。

（3） 意見等の概要は以下の通り

- ・ 社会の地理的分野と地図分野は項目3の観点②を重点化しているが、歴史的分野と公民的分野では、各種統計資料を取り扱う点は重視しないのか。社会科において視聴覚教材をよく使用するという観点で、重視した方がよいのではないか。

→すべての観点を調査することになっているが、種目の特性を考慮し、地理的分野と地図に関しては項目3の観点②を、歴史的分野と公民的分野においては項目4の観点①を重点としている。

- ・ 地区によって重点項目は異なるのか。
→地区ごとの会議で決まるため、それぞれで異なる。
- ・ 項目4の構成上の工夫において、今対象としている種目以外では二次元コードは重点項目にしないのか。
→すべての種目で二次元コードが扱われていることは確認しているが、第1地区の実態を踏まえ、分かりやすさという点から、今お示しした種目において、項目4の観点②を重点項目としたいと考えている。
- ・ 実際に現場で活用する点を重視し、各種目において二次元コードの内容を調査の対象にしていく方がよいのではないか。
→調査の対象ではあるが、二次元コードだけではなく、写真や挿絵等の配置なども含めた構成上の工夫として、調査を進めていくことになる。

(4) 今後の流れ

- ・ 決定した調査の観点の重点化について、専門調査会と学校調査会に共有し、調査研究を行う。
- ・ 各調査研究の結果を、次回、6月27日(木)の第3回選定委員会地区部会で審議する。

6 会議資料

(1) 令和7年度使用教科用図書『調査の観点（中学校・義務教育学校【前期課程】用）』